

## 市内176～178例目（県内251～253例目）の概要

令和3年1月28日公表

1月27日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに3名の方、市内176～178例目（県内251～253例目）となる感染者が確認されました。

昨日公表した171～174例目、および本日公表する176～178例目の方は、株式会社山陰合同銀行 松江コンサルティングプラザに勤務する職員です。

176～178例目の方の年齢・性別につきましては、本人の意向に加え、すでに勤務先が公表されていることから、個人の特定につながるおそれがあるため、公表を差し控えさせていただきます。

居住地及び発症日、症状につきましては、それぞれ配付資料のとおりです。

これまでの調査により、同一の店舗において、すでに複数の感染者が判明している状況から、同店舗に勤務する職員全員について、昨日1月27日にPCR検査を行った結果、さらに3名の陽性が判明したものです。

これで同店舗に関する調査により判明した感染者は、あわせて7名となり、集団感染の発生が確認されたところです。

ただし、同店舗では、保健所の指示によりすでに消毒作業を完了され、職員は在宅勤務に切り替えておられることから、今回の事案に関して同店舗における感染リスクはないものと考えています。

176～178例目の方は、発症日2日前以降の感染可能期間に、それぞれ出勤されていました。

顧客の接客を担当する方もおられますが、本人への聞き取り調査や、事業所が提供する勤務記録などにより、現在のところ店舗内外での接触者は把握できていると伺っています。

発症日2週間前以降の期間において、いずれの方も県外への移動歴はありませんでした。

今後も調査結果を踏まえて、濃厚接触者の特定を進めるとともに、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

なお、当該事業所ではカスタマーセンターにおいて、保健所とも連携しながら、不安がある方への相談対応に取り組んでおられます。

現在、176例目はのどの違和感の症状が、177例目は37度台の発熱、咳、鼻づまりの症状が、178例目は鼻づまりの症状がありますが、いずれも軽症とのことでした。

3名は、いずれも保健所の指導の下に自宅で待機し、感染症対策を講じた県内の医療機関に、176および177例目は本日中に入院される予定であり、178例目はすでに入

院されています。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする、感染しない、させないための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、風邪の症状があっても軽微なため受診されない例が散見されています。松江市では松江市医師会と連携し松江地域検査センターを設置し、素早く検査ができる体制を確保しています。

加えて2月上旬からは花粉症の季節となります。花粉症は、倦怠感や鼻づまりなどの症状で、新型コロナウイルス感染症との区別が難しいと考えられます。咳・鼻づまり・発熱・倦怠感などの症状があるときは、早めにかかりつけ医を受診していただき、その指示に従っていただきますようお願い申し上げます。こうした行動が感染拡大の防止につながる大切な行動です。かぜ等の症状がある場合は、早めに仕事や学校を休む、かかりつけ医に相談することを心がけていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。